

令和 6 年度品川区シルバー人材センター事業報告

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会 長 中 井 武 美

1. 事業実施状況

概 況

品川区シルバー人材センターは、昭和 52 年 4 月に品川区高齢者事業団として設立され、その後平成 23 年度には公益社団法人として新たにスタートを切り、今日まで長きにわたり高齢者の多様なニーズに応える組織のひとつとして、就業の機会を提供することを通じてその活動を援助し高齢者の社会参加と福祉の増進を図ってきた。

令和 6 年度は、前年のインボイス制度の開始に加えて 11 月にはフリーランス新法が施行され、センターを取り巻く状況はさらに大きく変化した。そうした変化への対応はセンターにとって大きな負担となり、業績にマイナスの影響が生じたことは否定できない。ただ、そうした影響のもとにおいて、会員専用サイト「スマイルトゥスマイル」の本格的な活用を開始し、多くの会員の皆様が登録していただいたことで、センターの DX がある程度進んだことはプラスの側面と言えるだろう。今後はそれを業績の向上に結び付けていくなど、本当の意味での活用を進めていくことが求められている。

令和 6 年度の事業実績の概況についてであるが、まず令和 6 年度における会員の入退会の状況は、年度末時点の会員数が 2,122 名と前年度と比べ人数では 10 名、率では 0.5% の増となった。会員数が前年より増加したのは平成 23 年度以来 13 年ぶりのことで、大幅な増加ではないものの今後のセンター運営にとっては明るい兆しとなった。インターネットを利用した広報や街頭での PR 活動など地道な努力が会員数の増に繋がったものと考えられ、今後も様々な媒体を活用した広報活動により、会員の獲得、センターの認知度向上を図っていく。

次に、事業実績については、シルバー派遣も含めた受託件数が 12,135 件と令和 5 年度から 741 件の減。契約金額は 12 億 3 百万円余で、令和 5 年度より約 590 万円の増となった。派遣事業の業績が向上したため全体の契約金額では令和 5 年度並みの実績となったが、コロナ禍以降請負での実績はマイナスが続いており、今後の取り組み強化が必要な状況は変わらない。今後も先行きの見通しづらい状況が続くことから、引き続き広く情報収集を行い的確な事業運営に努めなくてはならない。

最後に、センターの大きな課題である事故防止の取り組みである。令和 6 年度の事故件数は 13 件で前年度を 2 件上回る結果となった。前年同様に第 4 四半期の事故件数が 6 件と発生時期に偏りがあることから、その時期の啓発を強化するなどメリハリのある再発防止策により事故の抑制をさらに強力に推進しなくてはならない。会員の安心安全を図る観点からも、改めて事故ゼロを目指す取り組みを確実に進めていく。

以下、事業計画に沿った事業結果について報告する。

I. 事業目標・事業実績について

区 分	当 初 事 業 目 標	事 業 実 績		
		実 数	目 標 と の 比 較	前 年 度 比 較
会員数	2,300 名	2,122 名 (男性 1,142 名、女性 980 名)	△ 178 名 (7.7%減)	10 名 (0.5%増)
就業実人員 (請 負)	年 間 1,850 名	年 間 1,782 名	△ 68 名 (3.7%減)	△ 1 名 (0.1%減)
就業実人員 (派 遣)		77 名		48 名 (165.5%増)
就業延日人員 (請 負)		242,319 日人		△ 8,791 日人 (3.5%減)
就業延日人員 (派 遣)		4,506 日人		929 日人 (26.0%増)
契約金額 (請 負)	年 間 118,400 万円	1,174,678,500 円	△ 9,321,500 円 (0.8%減)	△ 3,117,531 円 (0.3%減)
		内 公 共 563,451,934 円		25,593,159 円 (4.8%増)
		民 間 611,226,566 円		△ 28,710,690 円 (4.5%減)
契約金額 (派 遣)	年 間 2,200 万円	28,898,781 円	6,898,781 円 (31.4%増)	9,067,876 円 (45.7%増)
受託件数 (請 負)	年 間 13,500 件	11,897 件	△ 1,603 件 (11.9%減)	△ 750 件 (5.9%減)
受託件数 (派 遣)		238 件		9 件 (3.9%増)

II. 公益目的事業について

事業 1 就業機会の確保・拡大

(1) 区の施策との連携・協力

令和 6 年度は、新型コロナウイルスの影響が緩和され、児童センター目的外管理や地区のお祭りに関わる管理等、コロナ禍では縮小・中止されていた人の集まる場所での就業が戻ってきた。

また、都知事選挙・都議会議員補欠選挙・衆議院議員選挙の公報配布、選挙時の通行補助案内業務もあり選挙関連の臨時業務については受注増に繋がった。

さらに、令和 4 年度から受注している特殊詐欺防止啓発活動業務を、令和 6 年度も区の地域活動課生活安全担当と連携して実施し、地域の特殊詐欺防止に貢献した。

こうしたことから、令和 6 年度の公共の事業実績は、令和 5 年度を上回る数字となった。

今後もさらに安定的な受注獲得のため区と連携協力しながら事業運営に努めていく。

(2) 就業機会の確保・拡大事業

民間の仕事としての請負・委託事業については、年間を通じて実施した受託件数の総数は 11,213 件であった。そのうち新規の契約は 617 件で、多くは清掃・植木だが、他に調査モニターなどの就業もあった。

① 技能系就業の技術の向上・リーダー育成

技能系就業においては事業継続のため、年間を通して就業会員の募集や新規会員への積極的な声かけを行い、数名の新規就業者を得ることができた。さらに、OJT 等で技術向上を行いながら定着を図った。

② ポスティング体制

ポスティングについては、就業会員の負担軽減のため、配布枚数の多い地域や高齢会員などに対して配布地域の分割や配布枚数の軽減を推奨し改善を図るため、会員専用サイト「スマイルトゥスマイル」での募集や声掛けを行い体制の強化を図った。しかし区内の会員登録数の少ない地域においては希望者不足が続いており、配布業務を安定的に継続させるには依然として問題を抱えている。

③ 就業確保・拡大

就業確保・拡大のため就業開拓専門員による、区内の中小企業事業者・共働き世帯・高齢者の一人暮らし世帯等を対象とする就業開拓を行った。仕事の担い手となる新たな会員確保のため、入会説明会、出張入会説明会、入会強化事業を実施した。説明会への申込は Web 広告での PR と Web からの申込フォームを運用し、幅広く参加者を募れるよう努めた。

(3) 地域・家庭からのニーズの充実

① 地域コンビニサービス事業

近年、高齢者世帯や単身世帯が多くなっている状況を反映して、病院の付添や買い物などの依頼が増加している。それらのニーズに応えるため受注体制の強化を図った。

また、地域コンビニのチラシを引き続き清掃事務所や支え愛・ほっとステーションに設置し事業の PR に努めた。

地域コンビニサービス事業

事業項目	実績	事業項目	実績
包丁研ぎ	222 件	室内外の片付け・整理・清掃	69 件
粗大ごみの搬出・解体	94 件	病院・買物の付添代行	13 件
家具移動・その他	78 件		

地域コンビニサービス計 476 件

家事援助

事業項目	実績	事業項目	実績
家庭内の掃除等	82 件	食事作り	8 件

家事援助計 90 件

児童送迎

事業項目	実績
送迎	3 件

児童送迎計 3 件

② 学習教室事業

区の補助を受けて、低廉な授業料で子ども向けの学習教室事業「おさらい塾」を実施した。令和 6 年度は小学 5・6 年生を対象として、各学年週 1 回の授業を行い、子どもの基礎学力の向上に努めた。

小学 5・6 年生 各 1 クラス

英会話初級 4～5 年生 1 クラス 生徒総数 13 名

③ いきいきプラザ事業の充実

いきいきプラザでは、福祉的就業の場として封入作業や検品作業など内職作業を積極的に受注した。毎月定期的に実施する作業のほか単発の作業も受注した。また、令和 6 年度も引き続き品川区内事業所の活性化に関連した配布業務の封入作業部分を東大井支所と協力し行った。

実績 32 件

(4) 適正就業への対応

適正就業となるよう担当職員による現場巡回や就業会員への聞き取り調査を行い、就業手順書の修正を随時行うことで適正就業の確保に努めた。

(5) シルバー派遣事業の展開

シルバーパス所得確認業務を新規に受注し、41 名の就業体制を構築するため、派遣コーディネーターと連携し説明会の開催と会員の選定を行い、滞りなく業務を遂行できるよう努めた。

事業の PR は、保育補助業務のさらなる拡大のため区内保育園とその運営会社へ PRDM の発送、区が発行する産業ニュースに仕事募集 PR を掲載し、それに合わせたタイミングで区内 7 駅に会員募集 PR ポスターを掲出した。そのほか、SNS のバナー広告などの Web 広告から遷移するランディングページに派遣の募集案件詳細を掲載するなど、仕事と会員の新規開拓に努めた。その結果、保育補助業務、経理補助業務、社内メール便事務、機械部品の仕分け梱包発送業務を新規開拓した。

(6) 地区委員会の充実

地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や「共働・共助」の理念に基づき会員の要望や課題の解決に向けて活動を展開した。

① 定期的な地区委員会の開催

レクリエーション事業の開催および全体会の開催に向けて議論を重ねた。
また、直近の話題、課題について意見交換を行った。

さらに、会報「シルバーしながわ」の配付を実施した。

② 地区全体会の開催

地区全体会を各地区ごとに開催。夏期全体会、新年全体会ともに盛況だった。

地区全体会の開催 各地区 年2回

地区	夏期全体会	講習会などの内容	新年全体会	講習会などの内容
品川北	7/27 開催 43 名	○品川警察交通課講演	1/19 開催 48 名	○アंकulun・尺八演奏 ○カラオケ・ビンゴ
品川南	7/21 開催 23 名	○薬剤師の薬の話	1/26 開催 30 名	○日本舞踊 ○カラオケ・ビンゴ
大崎	7/28 開催 29 名	○カラオケ・ビンゴ	1/26 開催 31 名	○自然堂の寸劇
大井東	8/3 開催 37 名	○品がら体操	1/18 開催 37 名	○三味線演奏 ○カラオケ・ビンゴ
八潮	8/4 開催 24 名	○懇親会	1/26 開催 27 名	○特殊詐欺についての講演
大井	8/18 開催 37 名	○特殊詐欺の手口や対策 ○合唱	2/2 開催 36 名	○手話ダンス・三味線演奏 ○カラオケ・ビンゴ
大井西	7/28 開催 17 名	○シルバー人材センター に期待したいこと ○カラオケ	1/12 開催 13 名	○出前落語
荏原	7/28 開催 43 名	○認知症と共に生きる ○特殊詐欺について ○カラオケ・ビンゴ	1/18 開催 39 名	○悪質商法の手口と対策 ○カラオケ・ビンゴ
中延	7/15 開催 38 名	○フレイル予防について	1/13 開催 40 名	○なぞなぞ・カラオケ ○じゃんけんゲーム・ビンゴ
戸越	8/11 開催 23 名	○特殊詐欺DVD・簡単体操 ○じゃんけん大会・カラオケ	2/9 開催 26 名	○カラオケ・ビンゴ

③ 地区委員長連絡会の開催

毎月の新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催することで、各地区、事務局との情報連絡・情報交換を図るとともに、新入会員に対して地区委員長紹介の場を提供した。

④ ボランティア活動

令和6年度も福祉施設の訪問事業は中止した。

事業2 普及啓発事業

(1) 会員の入会強化

① 会員募集の強化

会員の方へ新入会員紹介カードを配布することで、友人・知人の紹介を促進し入会の強化に努めた。

43 名入会

会員募集チラシは、目立つ色合いのデザインと安心・信頼の印象を与える青色ベースのデザインを併用し効果を検証しながら作成し、新聞折込とポスティングで配布を行った。また、紙媒体は継続しながら、Web 広告も展開し、幅広い層まで効果的に PR できるよう努めた。また役職員が駅街頭に立ち PR チラシの配布を行った。

② 関係機関での PR 活動

区の関連施設にて刷新した事業案内パンフレットや会員募集等のチラシの設置をお願いし、利用者の方に広くセンターを知ってもらうための PR を行った。引き続き、ハローワーク主催の「働きながら年金受給セミナー」に参加し PR を行った。

③ 現会員数の維持策

未就業会員・新入会員の仕事の希望を丁寧に聞き取り、仕事と会員を繋ぐとともに、未就業による退会を抑制することに努めた。また「シルバーしながわ」や「センター通信」で区が実施している健康診断の受診を奨励するとともに、会員自らが健康を維持管理できるようアナウンスを行った。

④ 女性会員募集の強化

高齢者世帯や独居高齢者・子育て世帯等、家庭からの家事のお手伝いや児童送迎・見守り、保育補助などの受注増に安定的に対応するため、年間を通して女性が働きやすい職種のイラストを多用した駅ポスター・看板の掲出、新聞折込及びチラシを作成配布し会員募集強化に努めた。

(2) 積極的な広報活動の展開

① 事業 PR チラシ配布、新聞折込チラシ、区内主要駅への看板・ポスター掲出

事業 PR チラシポスティング	300 枚×121 回	全戸×1 回
事業 PR チラシ新聞折込		15 回
事業 PRDM 発送		2 回
区内主要駅への看板・ポスター掲出		13 駅
品川ケーブルテレビ 15 秒 CM		1 回

② 区広報等による周知活動

区の広報しながわ	8 回実施
区の統合ポスター	6 回実施
しながわ産業ニュースへの広告掲載	5 回実施
しながわガイドへの広告掲載	1 回実施

③ Web 広告の運用

Facebook・Instagram バナー広告、Yahoo! リスティング広告、LINE 広告、YouTube 動画広告、ランディングページ運用 4 月～3 月

(3) 定期的な機関誌等の発行

① シルバーしながわ

広報担当理事と職員で構成される広報委員会が各発行時期に合わせて年 12 回編集会議を開催した。表紙には品川区内の季節の風景などを掲載し、定時総会の報告や安全就業・会員の趣味・職場紹介・地区活動・会員専用サイト「スマイルトゥスマイル」・フリーランス法・共助会旅行の報告などセンターを取り巻く課題や身近な話題を取り上げ親しみのある紙面づくりを心掛けた。また次年度の紙面構成についても話し合った。

年間発行回数 4 回（4 月・7 月・10 月・1 月）

② センター通信

会員向けに最新情報や注意喚起を掲載し、特に安全就業については毎月欠かさず重要性を訴えた。そのほか、スマートフォン教室や東京しごと財団主催の講習会の案内を周知し、会員の日頃の悩み解決や技術力向上を図った。また、会員専用サイト「スマイルトゥスマイル」での配信も開始し、手軽に情報共有することが可能になった。

毎月発行 年間 12 回

事業3 研修・講習事業

(1) 新入会員研修

センターの行っている事業の基本的理解と就業の際の注意点、接遇の大切さなどの研修を実施した。接遇の研修においては、9 月から講師を港区シルバー人材センターの会員に変更し、実例を交えた実践的で役立つ内容に変更した。

年間実施回数…12 回 受講会員数…177 名

毎月の受講状況

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者	26	21	24	9	8	19	13	7	10	8	13	19

研修プログラム 「接遇」

講師 (株)パトス・港区シルバー人材センター

地区委員長との顔合わせ

つま先立ち体操

センターの課題及び挨拶

会長

センター事業の説明

事務局長、事務局次長

就業の相談、斡旋

各担当者

会員専用サイト登録支援

支援員（会員）

(2) 職群ごとの研修会の開催

会員の技能向上と資質向上を目指して職群ごとに基礎研修を実施し、接遇や安全就業などの研修を随時行った。植木班については造園など技能知識が豊富で長い現場経験を持つ専門家を外部から招いて講師を務めていただいた。

東京都知事・都議補欠選挙公報配布説明会	6/11	255 名参加
シルバーパス更新業務説明会	6/17・20	40 名参加
特殊詐欺防止啓発活動業務	10/8・9	51 名参加
衆議院議員選挙公報配布説明会	10/15	124 名参加
除草班業務打合せ会	12/13・18	19 名参加
出合いの湯受付業務	3/14	46 名参加
植木作業班	3/18	18 名参加
放置自転車指導啓発従事会員打合せ会	3/19	7 名参加
喫煙マナーアップ啓発事業打合せ会	3/25・4/3	87 名参加
児童通学確認業務・環境整備業務会員打合せ会	3/26・27・28	155 名参加
学校等施設開放管理打合せ会	3/31	127 名参加

(3) 外部機関を活用しての研修

《東京しごと財団の就業支援講習会》

会員の技術力向上を図るため、東京しごと財団が実施する「就業支援講習会」に年間を通して参加勧奨を行った。

生活支援サービス第 4 回研修（上級救命講習）1 名参加

《第 4 ブロック共同研修》

ハラスメント研修	2 名参加
交通安全講習会	8 名参加
普通救命講習	3 名参加
安全就業研修会	3 名参加
デジタル化推進担当者会議	2 名参加

(4) 会員専用サイト「スマイルトゥスマイル」の利用登録相談会の開催

初回登録方法やログイン後の操作方法をサポートする相談会を開催した。スマホ操作に慣れた会員が操作支援員として参加者と同じ目線でサポートし、サイトの利用を促した。相談会以外でも、本部・荏原支部・東大井支所の窓口ではいつでも職員がサポートできるよう体制を整備した。

利用登録相談会開催 43 回 参加者 275 名

令和 6 年度末登録状況 1,292 名 登録率 61%

事業 4 調査研究事業

第 4 ブロック内のセンターを中心に派遣事業やセンターの事業状況等の情報を共有し意見交換等を行った。

また、第5次中期計画の策定については、インボイス制度とフリーランス新法がセンター事業へおよぼす影響が大きく、事業計画の見通しを立てるのが困難なため、今後の状況を見ながら着手していく。

事業5 入会相談事業の実施

常時入会手続きは行っているが、さらに入会の機会や認知度が向上するよう本部にて入会説明会を開催した。また、会員数が減少している地区や入会率の低い地区等に出張し、入会についての相談やセンターPRを行う出張入会説明会を開催した。開催にあたっては、新聞折込チラシでのPRの他、Web広告から遷移するランディングページ上に申込フォームを設置し開催日程も早期に事前公開することで、手軽に申し込める仕組みを構築し、参加者増に努めた。

入会説明会

開催日	開催場所	参加人数	入会者
4/25 (木)	本部集会室	13名	0名
5/30 (木)	本部集会室	12名	4名
6/27 (木)	本部集会室	13名	3名
7/25 (木)	本部集会室	14名	3名
8/22 (木)	本部集会室	10名	3名
10/31 (木)	本部集会室	13名	2名
11/28 (木)	本部集会室	13名	2名
12/26 (木)	本部集会室	10名	2名
2/27 (木)	本部集会室	25名	8名

出張入会説明会

開催日	開催場所	参加人数	入会者
9/18 (水)	中小企業センター	12名	5名
1/22 (水)	南大井文化センター	13名	7名
3/13 (木)	荏原第四地域センター	9名	2名

事業6 安全就業対策の推進

センターにおける安全就業対策は法人組織の維持のためにも重大な課題であり、安全管理委員会を中心に多様な取り組みを行ってきた。

令和6年度は13件の傷害事故が発生している。事故概要については資料1のとおりだが、転倒が6件、転落が2件、交通事故（自転車事故を含む）5件の合計13件となっている。会員一人ひとりが安全意識をさらに高め「事故ゼロ」を目指し、安全就業の取り組みを継続していくことが重要である。

(1) 安全就業強化の取り組み

- ① 各職群の打合せ会へ安全管理委員も参加し、安全就業についての講話、つま

先立ち体操、指差し唱和の訓練、KY（危険予知）運動なども実施し、最後にそれぞれ安全宣言等を採択して、安全就業の徹底を図った。

職群班 11 班 参加者 929 名

- ② 地区全体会（年 2 回 × 10 地区）においても、安全管理委員が出席し、実際の事故事例の説明、危険予知について周知を図った。
- ③ KY（危険予知）運動については、「シルバーしながわ」や「センター通信」を通じて、会員への周知を図るとともに実践への働きかけを行い、それぞれの就業現場にふさわしい方法で取り組むように勧奨した。
- ④ 自転車を利用している会員向けに、「シルバーしながわ」や「センター通信」を通じて、自転車保険加入義務化及び自転車乗車時のヘルメット着用の努力義務化について周知した。

(2) 安全就業基準の徹底

- ① 令和 6 年度は「安全就業基準」の見直しについては特になかったが、引き続き状況に合わせ更新していく。
- ② 植木班、除草班の使用しているヘルメット等の装備品に安全就業のシールを貼り安全意識の向上を図った。
- ③ 高所作業（1.5m以上）において、脚立や三脚等の道具使用の際には、事前に会員同士でチェックし、順守を徹底させた。また、安全パトロール時も確認を行った。
- ④ 定時総会、理事会、地区全体会、職群会議等において「つま先立ち体操」を行い、より多くの会員に定着化するように実施し普及に努めた。また、併せて「転倒しにくい体づくり～今すぐ始める高齢者筋トレ～」も「センター通信」などに同封し普及拡大を図った。

(3) 安全管理委員の活動強化

① 安全管理委員会の開催

安全管理委員会を年 4 回開催し、「安全対策基本計画」及び「安全対策実施計画」を作成・推進し事故ゼロを目指した。

定期開催 年 4 回（4 月・7 月・10 月・3 月）

② 安全パトロールの実施

5 月から 3 月までの各月において植木現場を中心に年間 14 回実施し、事故防止を呼び掛けた。

7 月には東京しごと財団から安全活動指導員が来所し、安全管理委員長・安全推進員の 4 名で植木現場 1 件とシルバーセンター受付業務の就業現場を巡回指導した。

③ 安全就業強化月間の取り組み

7月・11月・2月と3回実施した。各安全就業強化月間の共通の取り組みとして事故防止の注意喚起のチラシ配布、「シルバーしながわ」での安全就業に関する特集記事、「センター通信」等での就業途上の転倒事故・自転車事故防止の呼び掛けとつま先立ち体操の奨励等を行った。また、就業報告書を提出の際に事故への注意喚起をする一人一声掛け運動を実施した。その他各事務所で安全就業の垂れ幕を掲出し注意喚起を図った。また、安全就業強化月間においては安全パトロールを月に2回実施した。

以下、月ごとに行った取り組み

《7月》

熱中症に対する注意喚起チラシを配分金明細書に同封

各事務所で「転倒防止」・「熱中症対策」の注意喚起チラシと熱中症対策「塩飴」を配布

各事務所を避暑シェルターとして麦茶を用意

《11月》

各事務所で風邪予防「のど飴」を配布

就業経路途上の転倒事故・自転車事故防止チラシを配付

安全標語の募集

安全グッズ「ファーストエイドミニ」を11月より各事務所にて配付
(令和7年3月末まで配付)

《2月》

各事務所で転倒防止や路面凍結の注意喚起チラシと風邪予防「のど飴」を配布

④ 安全チラシの活用

配分金明細書に適宜、熱中症予防・転倒防止・自転車事故防止・雪に関する注意等安全に関するチラシを同封し注意喚起を行うとともに窓口でも配付時に呼び掛けを行った。

⑤ 事故再発防止講習会

傷害事故に遭われた方及び賠償事故を起こした方を対象に参加を義務づけた事故再発防止講習会を随時実施した。講習会は傷害事故に遭われた会員が就業に復帰する前等に事務局長・担当者・安全推進員などを構成員として開催し、計4名の会員が受講した。

⑥ 過去の事故事例集の活用

事故防止対策の強化を図るため、「傷害事故事例集及び事故防止対策集」を新入会員研修会において配付し事故防止の啓発活動に活用した。

(4) 傷害・賠償保険の加入、自転車総合保険の案内及び健康診断の受診促進

- ① あいおいニッセイ同和損保保険㈱が取り扱う「シルバー人材総合補償プラン」に全会員加入した。
- ② 自転車保険の加入の奨励
東京しごと財団や東京都で推奨しているサイクル安心保険や、品川区の区民交通傷害保険の加入促進を周知した。

(5) 植木班・除草班の安全就業への独自の取り組み

植木現場に入る際は必ずヘルメットを着用し、安全帯も必ず用意し必要に応じ着用することとした。安全パトロール時にはその場限りのことだけでなく、作業が終了するまで気を抜かずに事故防止に努めるよう安全啓発を行った。

また、3月に悉皆研修として、造園業者に講師を依頼し安全講習会を実施した。技術的な指導は造園業者に実施してもらい、日頃からのルールの徹底については、担当者から指導し、安全に対する意識を高めた。

(6) その他の取り組み

- ①入会時や就業決定後、必要に応じて安全ベストを貸与した。
- ②会員が就業につく前には必ず、担当職員から健康状態の聞き取りを行い、安全教育を実施した。

(7) 事業継続計画(BCP)の策定

大規模な災害等が発生した時に備えて優先事業の絞り込みなどの整備を進めている状況。また、策定した事業継続計画の見直しも今後実施していく。

事業7 地域交流活動の充実

(1) イベントを活用したPR

イベント	実施日	参加会員・実績
みどりと花のフェスティバル	4/13・14 10/12・13	会員延べ11名 包丁研ぎ延べ85本
ムサコマルシェ2024	10/26・27	会員延べ9名 包丁研ぎ延べ195本

Ⅲ. 収益事業

国有地・都有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営した。また、定期的な清掃、不法駐輪・駐車 of 撤去や道路の整理・整頓などを実施して周辺環境の整備に努めた

実績額 995 万円

Ⅳ. 法人運営（法人会計）

(1) 運営の簡素化

公益法人の機関運営については、簡素で効率的な法人運営の徹底に取り組んだ。

令和 6 年度定時総会

開催日時 令和 6 年 6 月 21 日（金）午後 1 時 30 分～

開催場所 品川区東大井 5－1 8－1 きゅりあん（大ホール）

会 員 数 2,181 名

出席会員数 1,325 名（内委任状 1,184 名）

定 足 数 1,091 名（会員数の 2 分の 1）

議 案

第 1 号議案 公益社団法人品川区シルバー人材センター
令和 5 年度 決算報告について

報告事項 公益社団法人品川区シルバー人材センター
令和 5 年度 事業報告
公益社団法人品川区シルバー人材センター
令和 6 年度 事業計画及び収支予算書

(2) ガバナンス（内部統治）の強化

理事会の活性化及び監査の充実

理事会等を定期的に開催し、事業全体の状況や会員の現状など運営全般を適宜把握した。

また、会員数の増加対策や事業 PR などを検討し、理事会にて課題や問題点について活発な論議を重ね管理と経営の充実に努めた。さらに、監査についても適切な経理処理と経営改善につながるよう定期的に実施した。

理事会 年 11 回開催

三役会 年 11 回開催

監 査 年 2 回開催

2.会 員 の 状 況

(1) 会員の入退会者数

(名)

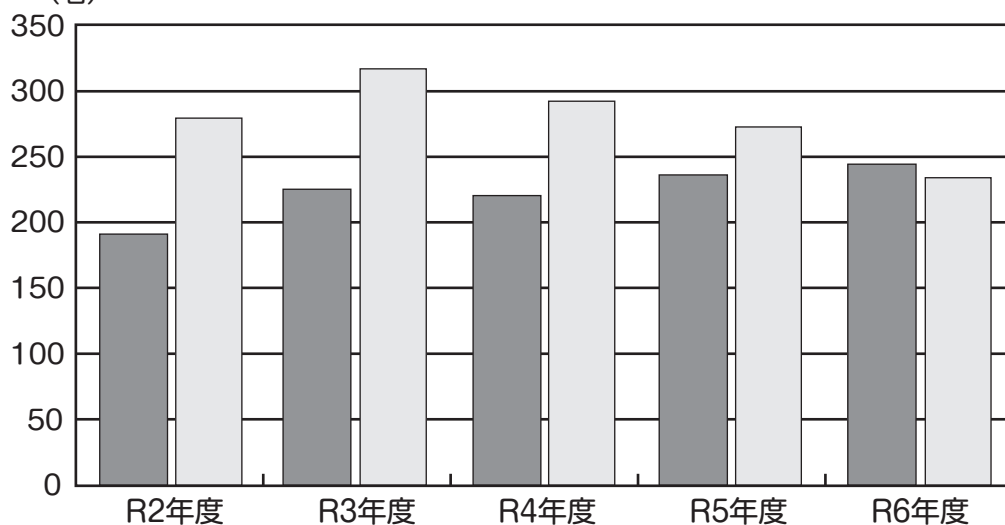
年 月	入 会		退 会		月末会員数		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
R6.4	38	45	4	10	1,170	1,011	2,181
5	14	15	6	3	1,178	1,023	2,201
6	13	10	11	12	1,180	1,021	2,201
7	5	6	13	12	1,172	1,015	2,187
8	13	6	3	1	1,182	1,020	2,202
9	10	11	29	26	1,163	1,005	2,168
10	9	4	24	24	1,148	985	2,133
11	4	9	8	5	1,144	989	2,133
12	4	9	7	4	1,141	994	2,135
R7.1	4	1	6	4	1,139	991	2,130
2	8	2	1	7	1,146	986	2,132
3	4	2	8	8	1,142	980	2,122
合 計	126	120	120	116			

退会理由

病 気	68 名	家庭の事情(介護等)	9 名
就 職	7 名	会 費 未 納	44 名
死 亡	30 名	加 齢	36 名
転 居	21 名	他団体等への加入	0 名
希望する仕事なし	10 名	センター運営に対する不満	0 名
就業機会なし	3 名	未回答(不明)	0 名
		そ の 他	8 名
		合 計	236 名

(2) 会員入退会者数の推移（過去5年間）

(名)



区 分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入会者数	188	224	220	234	246
退会者数	277	313	296	272	236

(3) 会員の年齢別内訳

令和7年3月31日現在(名)

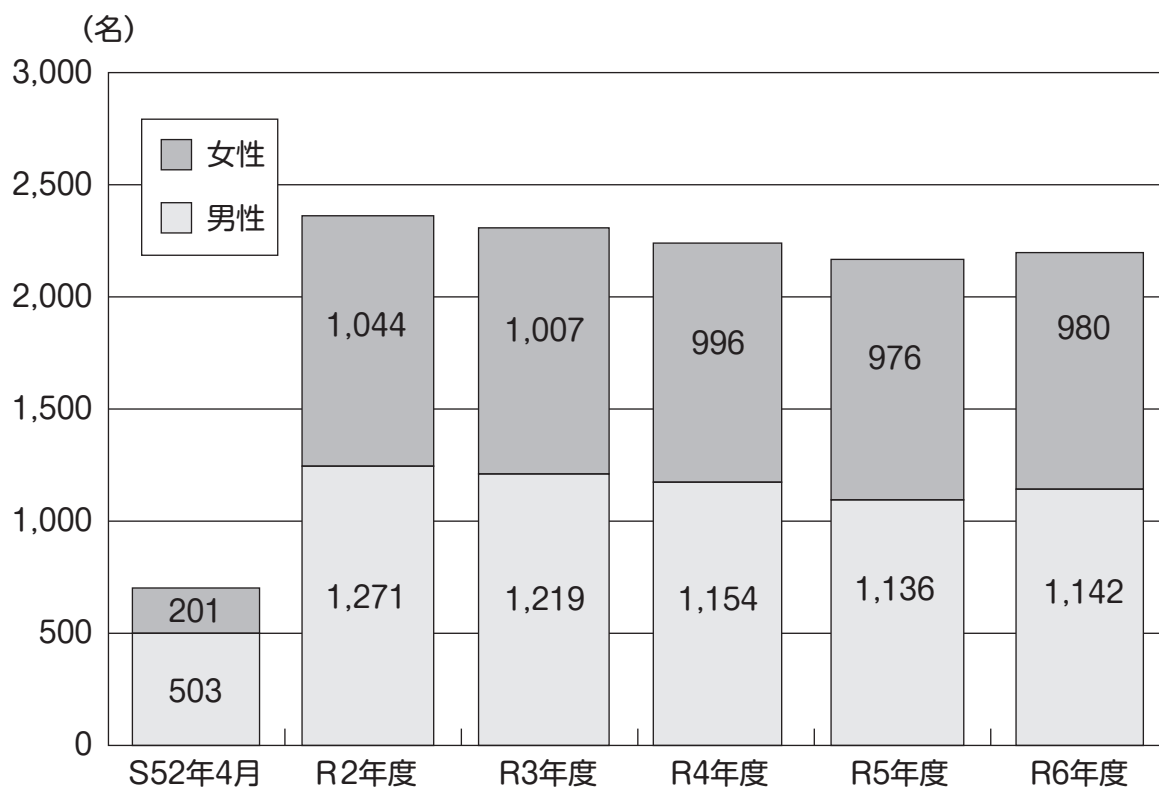
		60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合 計
会 員	男性	2	23	98	219	398	402	1,142
	女性	0	26	111	212	318	313	980
	計	2	49	209	431	716	715	2,122

・会員の男女比 男性 53.8% 女性 46.2%
 ・平 均 年 齢 男性 77.8歳 女性 76.9歳
 ・最 高 年 齢 男性 98歳 女性 95歳

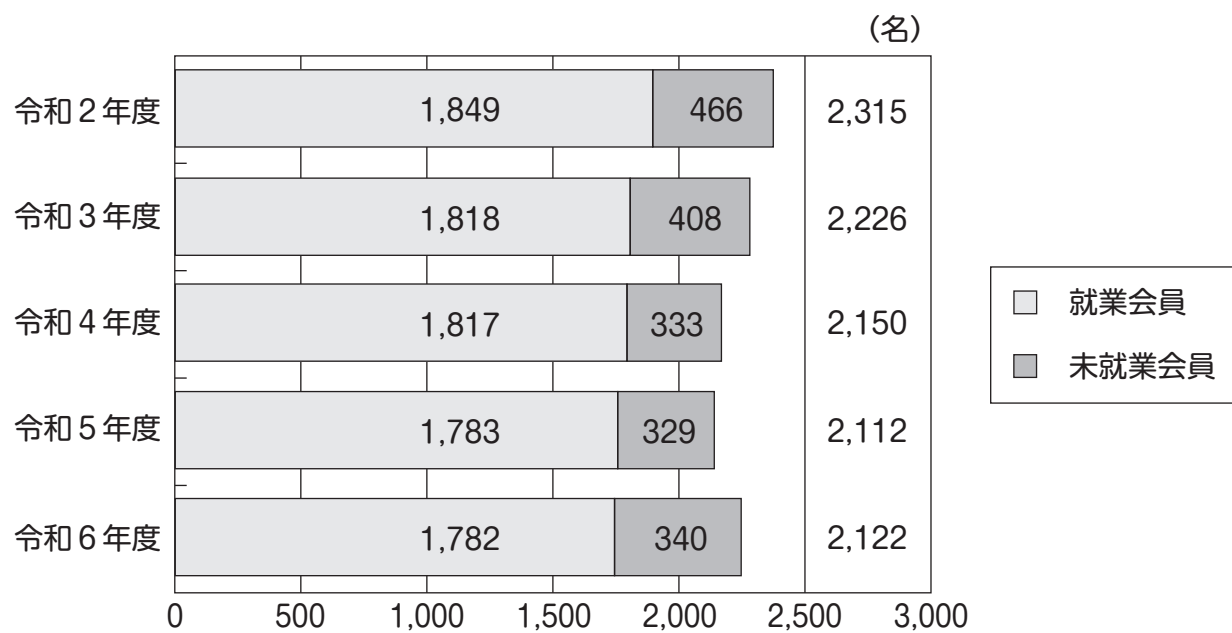
(4) 会員数の推移

(名)

	S52年4月	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
男性	503	1,271	1,219	1,154	1,136	1,142
女性	201	1,044	1,007	996	976	980
計	704	2,315	2,226	2,150	2,112	2,122



(5) 各年度別就業実人員の推移



(6) 各年度月別就業実人員

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
令和2年度	1,500	1,305	1,563	1,572	1,559	1,544	1,562	1,558	1,534	1,466	1,511	1,530	1,849
令和3年度	1,561	1,443	1,532	1,577	1,503	1,575	1,576	1,570	1,538	1,533	1,545	1,549	1,818
令和4年度	1,570	1,549	1,562	1,544	1,474	1,567	1,559	1,505	1,550	1,515	1,523	1,554	1,817
令和5年度	1,546	1,543	1,548	1,505	1,452	1,562	1,521	1,542	1,488	1,481	1,490	1,489	1,783
令和6年度	1,468	1,521	1,518	1,516	1,418	1,467	1,551	1,528	1,456	1,437	1,475	1,478	1,782

3. 事業実績

(1) 令和6年度月別事業実績表【請負】

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
	人		件	人	日人	円	円	円	円
4月	2,181	公 共	52	961	7,658	35,188,429	705,165	5,859,325	41,752,919
		民 間	906	1,481	10,721	42,752,017	970,181	6,754,835	50,477,033
		計	958	2,442	18,379	77,940,446	1,675,346	12,614,160	92,229,952
5月	2,201	公 共	54	1,566	11,914	44,030,651	834,632	7,361,090	52,226,373
		民 間	1,016	1,876	12,543	45,151,835	1,170,395	7,143,923	53,466,153
		計	1,070	3,442	24,457	89,182,486	2,005,027	14,505,013	105,692,526
6月	2,201	公 共	55	1,271	9,486	38,862,713	693,826	6,444,619	46,001,158
		民 間	980	1,490	9,812	42,863,575	1,058,798	6,853,771	50,776,144
		計	1,035	2,761	19,298	81,726,288	1,752,624	13,298,390	96,777,302
7月	2,187	公 共	55	1,468	10,368	46,766,475	715,852	8,088,084	55,570,411
		民 間	964	1,559	11,053	44,904,181	1,040,048	7,101,837	53,046,066
		計	1,019	3,027	21,421	91,670,656	1,755,900	15,189,921	108,616,477
8月	2,202	公 共	57	1,319	8,553	37,099,698	860,555	5,897,470	43,857,723
		民 間	847	1,471	10,856	41,383,325	1,790,822	6,516,583	49,690,730
		計	904	2,790	19,409	78,483,023	2,651,377	12,414,053	93,548,453
9月	2,168	公 共	57	979	8,018	36,937,980	633,332	6,937,404	44,508,716
		民 間	927	1,473	10,323	41,299,313	1,602,080	6,554,003	49,455,396
		計	984	2,452	18,341	78,237,293	2,235,412	13,491,407	93,964,112
10月	2,133	公 共	61	1,536	11,709	49,837,999	1,633,792	8,944,964	60,416,755
		民 間	1,005	1,660	11,262	45,844,613	1,322,474	7,133,757	54,300,844
		計	1,066	3,196	22,971	95,682,612	2,956,266	16,078,721	114,717,599
11月	2,133	公 共	60	1,293	9,249	39,476,474	734,404	6,755,687	46,966,565
		民 間	1,018	1,640	10,647	45,003,891	1,135,324	7,115,345	53,254,560
		計	1,078	2,933	19,896	84,480,365	1,869,728	13,871,032	100,221,125
12月	2,135	公 共	54	1,005	8,106	33,800,531	1,200,958	6,020,570	41,022,059
		民 間	989	1,593	10,540	42,913,441	1,277,819	6,784,206	50,975,466
		計	1,043	2,598	18,646	76,713,972	2,478,777	12,804,776	91,997,525
1月	2,130	公 共	59	1,156	8,528	34,305,782	778,174	5,936,037	41,019,993
		民 間	850	1,274	8,896	37,741,085	779,436	6,078,661	44,599,182
		計	909	2,430	17,424	72,046,867	1,557,610	12,014,698	85,619,175
2月	2,132	公 共	56	1,234	8,444	36,477,734	856,783	6,662,159	43,996,676
		民 間	850	1,458	9,941	37,340,380	885,744	6,053,762	44,279,886
		計	906	2,692	18,385	73,818,114	1,742,527	12,715,921	88,276,562
3月	2,122	公 共	64	1,262	9,825	38,080,727	632,076	7,399,783	46,112,586
		民 間	861	1,640	13,867	43,165,014	1,094,013	12,646,079	56,905,106
		計	925	2,902	23,692	81,245,741	1,726,089	20,045,862	103,017,692
累 計		公 共	684	15,050	111,858	470,865,193	10,279,549	82,307,192	563,451,934
		民 間	11,213	18,615	130,461	510,362,670	14,127,134	86,736,762	611,226,566
		計	11,897	33,665	242,319	981,227,863	24,406,683	169,043,954	1,174,678,500

(2) 会員の職群別就業実績【請負】

	公 共 事 業		民 間 事 業		合 計		構 成 比
	延日人員	配 分 金	延日人員	配 分 金	延日人員	配 分 金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技 術 群	52	374,400	2,047	4,719,537	2,099	5,093,937	0.5
2.技 能 群	143	1,577,493	4,500	37,566,903	4,643	39,144,396	4.0
3.事 務 群	4,002	15,855,353	2,719	17,555,855	6,721	33,411,208	3.4
4.管 理 群	31,346	229,799,039	14,927	85,643,695	46,273	315,442,734	32.1
5.折衝外交群	158	582,000	2,707	4,164,659	2,865	4,746,659	0.5
6.軽 作 業 群	29,093	114,840,822	86,329	336,536,985	115,422	451,377,807	46.0
7.サービス群	47,064	107,836,086	17,232	24,175,036	64,296	132,011,122	13.5
8.そ の 他	0	0	0	0	0	0	0.0
合 計	111,858	470,865,193	130,461	510,362,670	242,319	981,227,863	100
構成比 (%)	46.2	48.0	53.8	52.0	100	100	

図-1 職群別配分金比率

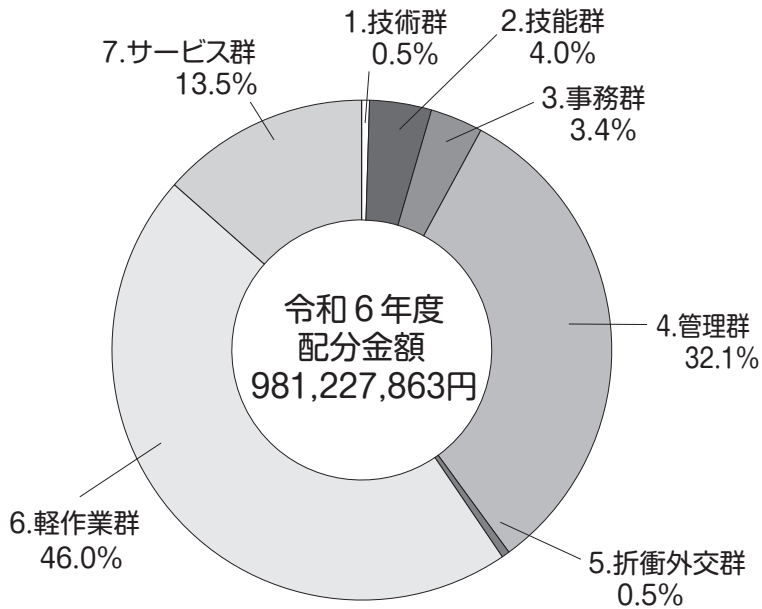
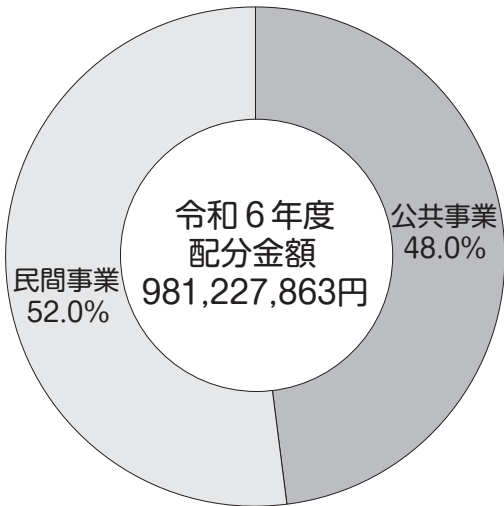


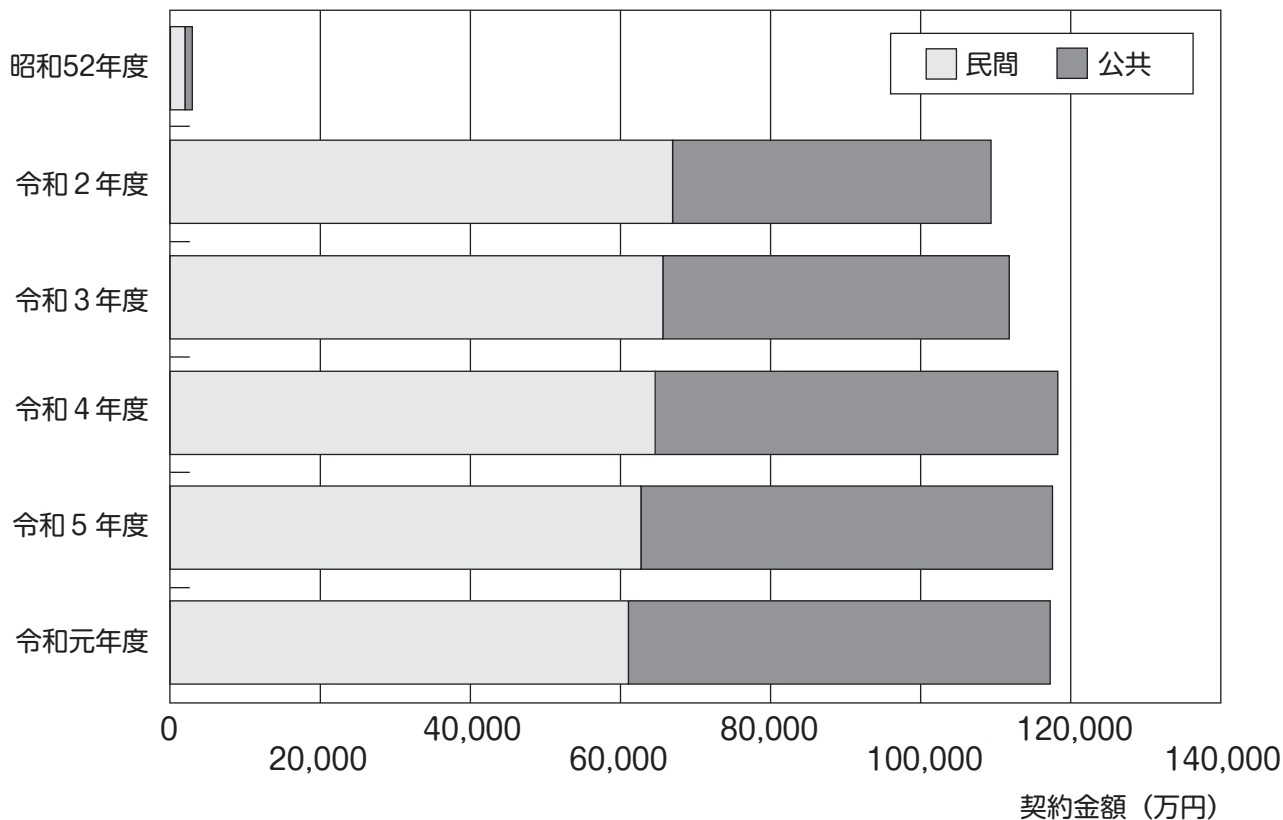
図-2 事業別配分金比率



(3) 各年度別事業実績（過去5年間）【請負】

年度	事業別	委託件数	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計	公民比
昭和52年度	公 共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民 間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
令和2年度	公 共	620	100,028	377,064,737	5,989,788	50,482,690	433,537,215	39.3 : 60.7
	民 間	13,350	151,128	590,490,265	10,864,548	67,882,907	669,237,720	
	計	13,970	251,156	967,555,002	16,854,336	118,365,597	1,102,774,935	
令和3年度	公 共	669	103,258	407,280,440	7,116,640	54,763,412	469,160,492	41.3 : 58.7
	民 間	13,265	150,873	584,617,055	12,288,706	69,365,039	666,270,800	
	計	13,934	254,131	991,897,495	19,405,346	124,128,451	1,135,431,292	
令和4年度	公 共	706	110,913	454,579,864	11,975,387	64,977,519	531,532,770	45.0 : 55.0
	民 間	12,820	151,089	570,181,178	11,959,271	67,282,677	649,423,126	
	計	13,526	262,002	1,024,761,042	23,934,658	132,260,196	1,180,955,896	
令和5年度	公 共	704	113,312	452,226,417	9,845,694	75,786,664	537,858,775	45.7 : 54.3
	民 間	11,943	137,798	535,994,265	16,341,696	87,601,295	639,937,256	
	計	12,647	251,110	988,220,682	26,187,390	163,387,959	1,177,796,031	
令和6年度	公 共	684	111,858	470,865,193	10,279,549	82,307,192	563,451,934	48.0 : 52.0
	民 間	11,213	130,461	510,362,670	14,127,134	86,736,762	611,226,566	
	計	11,897	242,319	981,227,863	24,406,683	169,043,954	1,174,678,500	

図－3 各年度別事業実績の推移



(4) 令和6年度月別事業実績【派遣】

月別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額		
		延実人員	延日人員	賃 金	手数料等	計
	件	人	日人	円	円	円
4月	19	26	308	1,417,647	416,605	1,834,252
5月	20	27	342	1,602,076	479,365	2,081,441
6月	22	34	351	1,580,683	442,023	2,022,706
7月	19	64	654	3,690,277	1,101,442	4,791,719
8月	20	65	702	4,004,969	1,165,467	5,170,436
9月	19	27	301	1,377,937	386,223	1,764,160
10月	21	28	332	1,553,807	442,710	1,996,517
11月	19	27	319	1,524,184	417,467	1,941,651
12月	19	25	303	1,460,779	387,727	1,848,506
1月	20	27	300	1,473,255	411,185	1,884,440
2月	20	28	284	1,366,815	361,208	1,728,023
3月	20	24	310	1,449,151	385,779	1,834,930
計	238	402	4,506	22,501,580	6,397,201	28,898,781